

News letter

Japanese Nursing Society of PAS Based Self-Care Therapy



PAS-SCT 看護学会第3回大会 企画委員長挨拶

セルフケア支援の発展 一事例がもたらす知の構築と介入型事例報告・事例研究一

第3回大会企画委員長 宇佐美しおり

(四天王寺大学看護学部教授・看護実践開発研究センター長)

本学会は、悪性腫瘍や心不全、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患など五大疾患等慢性疾患患者に対し自立的な判断と行為を行う専門家としてのセルフケア看護介入ならびに複数疾患をもち、入退院を繰り返すケア困難、地域生活維持困難な患者へのPASセルフケアセラピイ（Psychoanalytic Systems Theory based Self-Care Therapy, PAS-SCT）を看護職の専門技法として展開・実践し、実践のためのトレーニング、そして成果をまとめていく介入型事例報告、事例研究の構築を目的としています。



本学会は、セルフケア看護介入ならびにPAS-SCTの専門介入技法が、看護職ならびにCNS（Certified Nurse Specialist,CNS,専門看護師）やNP（Nurse Practitioner,NP）などのAPN(Advanced Practice Nurse,APN,高度実践看護師)の中心的専門技法として位置付けられるとともに、これらの理論がこれまでの対象理解理論をこえ重症度に応じた成果を明確に記した予測理論としての看護介入理論として明確に位置付けられるよう実践と研究を行うことを特徴としています。

さらにCOVID-19が蔓延する中、住民および医療者が疲弊し、長引くコロナ渦でどうセルフケアしていくのか、また住民や医療従事者の抑うつや疲弊を予防していくための効果的なセルフケア看護介入技法が早急に必要となってきています。

今回本大会ではこのCOVID-19へのセルフケア看護介入についてはさることながら、慢性疾患である悪性腫瘍患者の自己決定を促進してきた国府浩子教授（熊本大学大学院生命科学研究部）に「セルフケア支援への知の構築」について語って頂き、慢性疾患患者のセルフケア看護において実践・研究でご活躍の本庄恵子教授（日本赤十字看護大学）に「セルフケア質問紙の開発とその活用」についてご講演を頂きます。悪性腫瘍、慢性疾患患者へのセルフケア看護介入がどのように展開され研究がどこまで進んでいるのかを明確にしていただけることを期待しています。

さらに、昨年に引き続きPAS心理教育研究所の小谷英文理事長（国際基督教大学名誉教授）に「科学的事例研究：方法論と手続き」において、介入型事例報告と事例研究において要となるケース・フォーミュレーションと展開方法についてご講演を頂きます。介入型事例報告と事例研究をセルフケア看護においてどう用いることができるのか、さらに明確にして頂けると考えています。

さらにケースカンファレンスでは本学会の特徴である介入型事例報告の検討会を、また大会企画では本学会で行っているトレーニングの実際についてご紹介させていただきます。

激動する医療界において、看護の専門性とその効果を明確に打ち出していく本学会の学術的・学際的意義は非常に高く、またセルフケア看護理論のさらなる発展に本学会が貴重な役割を担っていることを実感して頂けるものと思います。皆様の参加をお待ちしております。

第3回大会ホームページ▶▶<https://www.passctnursingconference.com/>



PAS-SCT 看護学会 2020年トレーニングのご案内

2020年度学会トレーニングでは、悪性腫瘍、精神疾患、心不全や脳血管疾患、糖尿病の患者へのセルフケア看護介入をどう実践し介入成果をあげることができるのか、訓練の実際を示すとともに、介入した結果を介入型事例報告・事例研究としてどのようにまとめていくことができるのか、について練習していきます。さらにセルフケアプログラムからPAS-SCTへ展開する起点、方法についてもトレーニングします。

患者の回復、地域生活を確実に促進するためのセルフケアプログラム・PAS-SCTの看護介入技法、トレーニングや介入型事例報告のまとめ方について関心のある方はぜひご参加ください。

理事長 宇佐美しおり

看護師の継続学習として必要なトレーニングの機会

トレーニング検討委員会委員長 遠藤 恵美
(横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神看護専門看護師)

PAS-SCT看護学会主催のトレーニングは、前身である専門看護師協議会のものを含めると数年、宇佐美先生・小谷先生のトレーニングに参加させて頂いています。私は精神看護専門看護師になって、自分が何をする人なのか、専門性の高い、見方によれば何も勉強しなくとも自分の感性だけでやれてしまう気になる精神科看護を他の看護師の実践との違いはどこにあるのか、心理士と精神看護専門看護師の実践の違いは何なのか、このことずっと悩んで、自信のないまま臨床を続けていました。精神力動理論やセルフケアも自分なりに患者理解の道具として使ってきましたが、患者理解の域を出ず、ケアプランにつながらないモヤッとした感覚もずっと持ち続けていました。

私は精神科病床のある総合病院でリエゾンチーム活動をしていますが、「セルフケアを支援していく」といった「セルフケア」という言葉を現場で目にします。これは自分でできることは自分でできるよう指

導していくという意味合いで使われているように思います。PAS-SCT でいう「セルフケア」は意図的過程と自己決定を重要としています。病気で生活の変容を余儀なくされる患者さんの中には自分のことは自分でできるようにという看護師の指導が行き届き、セルフケアできる人もいます。しかし、病気によって退行をきたし、セルフケアをしない医療者にとっては対応困難に見える人もいて、そのような人が PAS-SCT の対象者であり、「セルフケア」を意図的にしていくプロセスを実際のトレーニングと現場での自分の体験を通して学ぶことが出来ます。座学ではない動的なトレーニングなので自分がどう行動するかケアプランに反映できます。毎回参加してみて、「ああ、なるほどなあ」と思っても自分の言葉で他人に簡潔に説明できないのが今の私の課題で、やはり継続トレーニングが必要です。同時に、参加することで自らの実践の場に向かうためのエネルギーをもらう場にもなっています。

自験例を基にトレーニングは進んでいきますので、是非皆さんもご参加下さい。



PAS-SCT 看護学会 2020 年第 1 回トレーニング 参加者の声

第 1 回 PAS セルフケアセラピイ看護学会トレーニングに参加して

吉田 有美

(訪問看護ステーションエバーケア 看護師)

私が PAS セルフケアセラピイ看護学会を知ったのは 2019 年 8 月に行われた PAS セルフケアセラピイ看護学会第 2 回大会に参加した時でした。その時は今までのアセスメントや目標設定などの看護過程に行き詰まりを感じ、セルフケアの勉強がしたいと考えていました。学会の発表内容は聞きなれない言葉や疑問も多かったのですが、今まで学んできた事や知っている事以上の全部を使ってアセンスメントを行い、実践している姿に驚きと感銘を受けました。

とりあえず、こんな私でも少しは使えるようになるのかわからないが、少しは使えるようになりたいと思い、第 1 回 PAS セルフケアセラピイ看護学会トレーニングに申し込みました。トレーニング当日まで本ぐらいは読んでおかないといけないと思いつつ購入が間に合わず、参加当日 PAS セルフケアセラピイの本を購入。こんな不勉強なのは私だけだろうと緊張しながらも講義内容はわかりやすく、持ち寄った事例検討会も非常に和やかな雰囲気に安心と心地よさを感じました。

講義は無意識にアクセス概念、意識的な関りとその背景を理解するための自我機能や発達段階と内容は盛りだくさんでしたが、事例検討の振り返りはただただ楽しかったです。実際の面接の実践も体験したのですが、初めてグラウンドメイトリックスをまとった空気を持った看護師との面接は私の PEA の感情的な E を抑制するものでした。その後の DER ソフトまで感じる事はできませんでしたが、不思議



な感覚の体験というのは記憶より感覚が残るものだという事も学べました。

まだまだ勉強することはたくさんあるという期待を持つつ、次回の参加時は本にも目を通し、学びを深めて参加できる事を楽しみにしています。



PAS-SCT 看護学会 2020 年第 2 回トレーニング 参加者の声

第 2 回学会トレーニングに参加してみて

下 泰輔

(碧水会長谷川病院 看護師)

今回は新型コロナウイルスの影響により 2 日間共にオンラインでの開催でした。初めてのオンラインでの参加で不安もありましたが、特殊な状況下の中でもいつもと変わらず参加することができました。まずは今回は、新型コロナウイルスが蔓延している危機状態の中で、不安を抱えつつ働いている看護師と、そのような看護師にかかる看護師として、今の状況をどうとらえるのか、また、それに対する集団や個人にどう対応するのかを講義していただきました。私もパラダイムシフトが起こりつつある世の中で、その変化への不安や戸惑いを感じておりましたが、今自分がやらなければいけないことを確認・実感することが出来ました。

また、今回のトレーニングでも事例を使いながらセルフケアプログラム展開についての検討を行っていきました。事例の検討では、現在取り扱っているケースについてのアセスメントやケース・フォーミュレーションを行ったのち、看護面接のトレーニングを行いました。今回はオンラインでの実施でしたが、トレーニングではその場でリアルタイムに、相手や自分が体験したことを基にアセスメントやケース・フォーミュレーションを深めることができます。トレーニングで深めることで、普段自分が関わり、考察している中で自分では気づけない見方や考え方を知ることができ、さらに実際に患者としてやり取りを行うことでより深めることができます。そのため、今回自分の事例をトレーニングに出させていただき、その場での会話や関わりの中での感じたことや思ったことを大切にしていかなくてはと改めて実感できるトレーニングでした。また、自身の事例でのトレーニングを行うことで、自身の関わりやセルフケアプログラムの展開の評価を行え、再び病棟に帰った際に新たに介入を行えるため、毎回トレーニングに参加することで看護を行っていくことの楽しさも実感できました。

PAS セルフケアセラピイ看護学会トレーニングに参加して

松橋 美奈

(東京慈恵会医科大学附属第三病院 精神看護専門看護師)

私は数年前から PAS セルフケアセラピイ看護学会トレーニングに参加させていただいております。トレーニングを受け始めた当初は、初めて聞く言葉も多く戸惑うこともありました。しかし、少しづつではありますかトレーニングを積み重ねてきた成果が、実践できるようになっていることを感じられるようになりました。もちろん、上手くいくときもあれば、そうでないときもありますので、上手くいかなかったときは何が上手くいかなかったのかを検討し、再度、患者のところへ行き、アセスメントを繰りかえし介入してみることを大切にしています。

以前は経験や勘を頼りにしていたため、自分の介入を振り返った時に、あいまいなままで終わってしまうことがあったのですが、トレーニングの中で、ロールプレイを通してノーダルポインがどこにあって、自我機能や人格機能、適応能力の理解を深め、使われている防衛やどのような欲求があるのか、どのような関わりができるかなど、より実践に繋がる学びが多くあり、振り返った時に以前よりも修正できる部分が明確になっていると思います。自分がロールプレイをやってみたり、感じたことを言葉にしてみることで新しい発見もありますし、失敗を恐れない精神も同時に鍛えられています。

今回、参加したトレーニングの中で、「患者をリスペクトすること」と「患者が自分の自立性で切り抜けていくということを抜かさない」ということを小谷先生が繰り返しおっしゃっていたことが、印象に残っています。患者のできている事を積極的に見つけて、セルフケアを展開することを支援するという意識を私自身が明確に持って、今後も基本の技術を丁寧に積み上げて行きながら、自分の課題としているところに取り組んでいきたいです。





学会からのご案内（学会事務局）

◆PAS - SCT 看護学会第3回大会・第2回総会

大会長：國府 浩子（熊本大学大学院生命科学研究部教授）

大会テーマ：セルフケア支援の発展 一事例がもたらす知の構築と介入型事例報告・事例研究—

日時：2020年9月6日（日）10:00～17:00

開催方法：Web開催（リアルタイムオンライン学会）

参加費：会員6,000円、非会員7,000円

* フルタイムの大学院生は各1000円引き

事前参加登録締め切り：2020年8月21日（金）17:00

* ご参加には事前参加登録が必要です！

大会ホームページよりお申し込みください。

お問い合わせ： 第3回大会事務局 事務局長 川田陽子（四天王寺大学看護学部）

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

電話：072-956-3181（代）

Email：passct-society@umin.org

大会ホームページ：<https://www.passctnursingconference.com/>



◆2020年PAS - SCT 看護学会主催トレーニング 第3回

本学会では、精神障害、悪性腫瘍・糖尿病・心不全・脳血管疾患を有する慢性疾患患者へのセルフケアプログラムおよび行動化・反復される自傷行為・依存や訴えが多い・長期入院・入院の繰り返し・隔離拘束がとれない・衝動性の高い患者等「ケア困難な患者」に対するPASセルフケアセラピィ（PAS-SCT）の看護介入に関する理論と技法を学びます。第1回、第2回に参加していない方でもご参加いただける内容になっています。

トレーナー：宇佐美しおり（四天王寺大学看護学部教授・看護実践開発研究センター長）

技術トレーナー：小谷英文先生（PAS心理教育研究所理事長、国際基督教大学名誉教授）

日時：2020年10月3日（土）11:00～18:30、10月4日（日）10:00～16:30

場所：あべのハルカス23階 四天王寺大学サテライトキャンパス

*状況によりオンライン開催に変更となる場合があります

参加費：会員13,000円、非会員15,000円（2日間の参加費です）

◆申し込み先：PAS-SCT 看護学会事務局

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

四天王寺大学看護学部

TEL：072-959-2436 E-mail：passct_office@passct.com

事務局長 川田陽子（四天王寺大学） 事務局長補佐 宮崎志保（四天王寺大学）

事務局 石飛マリコ（日本赤十字九州国際看護大学）、江原瑛子（長崎大学病院）、橋野明香（広島大学）